



# 海と日本

## 日本文化を統合学習

この授業では、「海」をテーマにして初級レベル(1~3年生)の統合学習を行う。テーマ授業は実際の言語学習を補うことができる。今回の授業ではあらゆる教科を統合して、1日のプログラムで日本の言語と文化学習に対する興味を引き出そうとするものである。児童はいろいろな学習法から多角的な理解力を身につけ、また実習を通して積極的に学ぶ。多くの児童がテレビで日本の番組を見ているので、日本語の簡単なフレーズや単語には親しんでいる。



リタ・クーンツ  
Rita Koontz

ハーディン学区教育委員会  
(米国、ケンタッキー州)

### 目的

#### 言語面の目的

物語の登場人物、あらすじ、場面などを描写できるようになる。  
日本の昔話に対する理解が深まる。

学習する機能	学習する文型	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 1から10まで日本語で数える</li> <li>❖ 丁寧な言い回しを学ぶ</li> <li>❖ ものの名前を言う</li> <li>❖ ほめことばを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 1 ~ 10</li> <li>❖ ありがとうございます、こんにちは、いただきます</li> <li>❖ これは~です</li> <li>❖ おいしいです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう</li> <li>❖ こんにちは、いただきます、ありがとうございます、さようなら</li> <li>❖ タコ</li> <li>❖ おいしい</li> </ul>

#### 文化面の目的

社会科	日本が島国であることを学ぶ。 異なる文化圏の人びとについて学び、理解する。
語学	物語の登場人物やあらすじ、設定を説明する。
理科	海にはさまざまな生物がすんでいることを学ぶ。 タコは日本の食材の一部であることを知る。
美術	紙皿でタコの人形を作る。
算数	タコが8本足であることを認識する。 日本語の1から10までの数字を学ぶ。
音楽	歌を聞き、歌う。
健康	いろいろな食べ物を試食し、食べ物の違いを認識する。

## LESSON PLAN

### 用意するもの

日本地図  
 「浦島太郎」(ネル製の人形を使って読み聞かせをする)  
 Teach Me Japanese-Nihongo, Hardin County Education  
 TV(ビデオ)  
 ストロー  
 タコを作るための紙皿

### 授業の進め方

#### 1. 社会科 (20分)

1. 日本の地図を見せ、話し合わせる (10分)  
 地図を大きくし、色をぬる。
  - 1) 交通について  
 ケンタッキーからどうやったら日本に行けるか。  
 時差はどのくらいか。
  - 2) ケンタッキー州と比較した面積について  
 人口密度(教室をケンタッキーと日本の面積の比率で区切り、それぞれの人口密度に応じて児童を配置する。児童は日本の方が混んでいると言うだろう)。  
 日本の大きさはちょうどモンタナ州ぐらいである。
  - 3) 近隣諸国について
  - 4) 地形(立体的な地形図を使う)  
 山が多い(平地は少なく、農場は小さい)  
 海に囲まれている(日本海と太平洋。海から採れる資源や食べ物について、自分たちの食生活と似ている点、違う点について話し合う)。
2. 国と国民について話し合わせる (10分)
  - 1) 着物と装飾品(生徒も身につけてみる)
  - 2) 写真

#### 2. 語学 (15分)

1. 布製の「浦島太郎」の絵本の朗読
2. タコを紹介する。話にでてくる海の生き物について話し合わせる。
3. 玉手箱の中に何が入っているか。  
 玉手箱を開く前にまず児童に物語を完成させる。その後で彼らの物語について話し合ってから、本来の物語を完成する。

#### 3. 理科 (10分)

1. 多くの生物  
 日本に面している太平洋には多くの生き物が生息し、人びとの資源となっている。その一つがタコである。

#### 2. タコについて

- 1) タコの足はtentaclesという。この足には吸盤がたくさんついていて、食べ物を探すときにこれを使う(この吸引の原理について、小さい吸盤を使って実験してみる)。
- 2) ストローで軽いものを吸い上げる練習をさせる。

#### 4. 美術 (10分)

1. 紙皿でタコを作る。
  - 1) 紙皿を用意する。
  - 2) 紙皿を半分に折る。
  - 3) 別の紙でタコの顔と足の形を作り、色を塗る。
  - 4) 顔を紙皿の上端につける。
  - 5) 足を紙皿の下につける。
  - 6) 顔と足をつけた紙皿に、持ちやすいようにつまみをつける。
2. 作ったタコで遊ぶ。  
 タコは水の中で楽々と泳いでいる。作ったタコも水に泳がせる。タコは水を吸って吐き出すことによって動いている。作ったタコの口を開けて、水を吸い込ませ泳がせてみる。

#### 5. 算数 (10分)

1. 日本語でタコの足の数を数える。
2. 3匹タコがいたら、足は全部で何本か。10匹なら何本になるか、答えさせる。

#### 6. 音楽 (10分)

1. 「いち、に、さん」を歌う(「Three Blind Mice」の替え歌)。  
 いち に さん、いち に さん  
 し ご ろく、し ご ろく  
 しち はち きゅう じゅう  
 しち はち きゅう じゅう  
 いち に さん、いち に さん
2. 人形を使って歌を歌う。  
 人形を使って、歌にあわせて児童を立たせたり、座らせたりする。例えば、「いち、に、さん」と歌うと、1番目の児童、2番目の児童、そして3番目の児童がタコをもって立ち上がり、そして座る。

#### 7. 健康 (10分)

- 食べ物について話し合わせる。

#### 8. 復習 (5分)

#### 9. 評価方法

- ✧ 話し合い

## 文化理解と外国語学習について

### 日本語をいろいろな教科に取り入れる

第一の目標は、テレビを利用した遠隔教育や教室での直接指導を通じて小学生に日本のことばと文化を紹介することである。言語と文化に触れることで、児童は日本の生活や文化がいろいろな点で自分たちの文化と共通していることを認識することができる。それぞれの授業で、玩具や衣服、本、小物、食べ物など実物を手にすることによって、児童は日本の「実生活」に触れることができる。こうして、共通点と相違点を自分で確かめ、自分たちと共通するものがたくさんあることを児童に理解してもらおう。私たちはみんな、世界というこの広大な土地の一部であり、世界の人びととのコミュニケーションを通じてのみ、相互理解を成し遂げることができるのだ。

児童は、情熱と意欲にあふれて学校生活を始める。この時が、第二外国語を教え、他の文化に触れさせる最良の時期だ。第二外国語を早い時期に学び始めれば、

知的発達も促進されるとの研究成果もある。こうすることで将来の学習に備えることもできる(私たちの学区の高等学校では日本語は教科になっていないが、私たちのプログラムが社会レベルでの関心や希望に結びつくようにと願っている)。

このプログラムは、児童や教師、コミュニティの情熱や支援、協力があって実現した。日本語の学習は1日の授業でも可能であり、日本語学習がどの教科にも結びつくものであることを他の教師にも理解してもらいたいと思っている。その他、日本語で「ドア」「窓」「カーペット」と書いた紙を張るという試みもしている。私たちは、火山やエネルギー、音楽、親睦やコミュニティなどを取り上げた授業をいろいろ展開することができるだろう。児童が情熱をもって学習に取り組んでいるのを目にするのは本当にうれしいことだ。

### 講 評

このレッスンプランは、「海と日本」というテーマにそって各教科の学習が統合されている。このようなテーマ学習の中に、日本文化や日本語を含めたことが、このレッスンプランの大きな特徴である。児童は「日本文化を勉強している」「日本語を勉強している」というような意識ではなく、海のことを勉強していたら、いつのまにか日本のことも、日本語の単語もいくつか覚えてしまった、そんな感じだろう。このような学習の仕方は、児童にとって自然でしかも、効果的な方法といえるだろう。